

重点目標一覧表

担当部局名	消防部
-------	-----

【平成24年度重点目標】

【平成25年度重点目標】

1	<b>重点目標</b>	消防団活動体制の充実強化による防災力の向上		<b>重点目標</b>	消防団体制の充実・強化	
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
		消防団員定数、車両配置等の検討 消防団拠点施設及び消防団装備の充実	団員定数を2,270人とする条例改正を実施 詰所新設2箇所、実施設計2箇所 小型動力ポンプ付普通積載車2台 小型動力ポンプ付軽積載車1台 指揮車1台、小型動力ポンプ5台配備 通年 広報及び周知 協力事業所加入依頼を実施		消防団拠点施設及び消防団装備の充実	年度内 詰所新築2箇所、実施設計2箇所 ポンプ車1台、 小型動力ポンプ付軽積載車2台 小型動力ポンプ4台 通年 広報及び周知 年度内 女性専用トイレの整備 1箇所
		消防団活動の住民等への周知による消防団員の確保			消防団活動の住民等への周知による消防団員の確保 女性消防団員に配慮した分団詰所整備	
2	<b>重点目標</b>	市民への防火対策の強化及び応急手当の普及の推進		<b>重点目標</b>	市民への防火対策の推進及び応急手当の普及の推進	
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
		市民への防火対策指導の徹底（防火講習当初目標150回） 幼少年への防火・防災知識の普及促進（防火教育当初目標70回） 住宅用火災警報器の設置指導（設置率100%） 市民に対する応急手当の普及促進	161回実施 達成度107% 129回実施 達成度184% 設置率74.2% 普通救命講習会 64回実施 1,319人受講 上級救命講習会 4回実施 126人受講 普及員講習会 2回実施 42人受講 その他 118回実施 3,557人受講 合計 188回実施 5,044人受講		市民・事業所への防火対策の啓発指導 ・高齢者の住宅防火対策の推進 ・防火講習、初期消火訓練の開催 ・事業所への立入検査の実施 幼少年への防火・防災知識の普及 市民に対する応急手当の普及促進	通年 ・高齢者宅防火訪問 100件 ・防火講習 150回 ・立入検査 600件 随時 幼少年対象の防災・防災教育 100回 随時 普通・上級救命講習受講者 1,400人
3	<b>重点目標</b>	消防水利の充実・強化		<b>重点目標</b>	消防水利の充実・強化	
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
		耐震性貯水槽の新設（当初5基計画） 消火栓の新設	国庫補助金不採択により3基に変更し、新設 25年度事業の前倒し5基を繰越して新設予定 10基新設		平成24年度からの繰越事業である耐震性貯水槽の新設 消火栓の新設	年度内 5基新設 年度内 6基新設
4	<b>重点目標</b>	上田広域消防本部体制の充実・強化の推進		<b>重点目標</b>	上田広域消防本部体制の充実・強化の推進	
		具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
		消防・救急無線のデジタル化に伴う施設等整備 消防車両等資機材整備	デジタル化実施設計 1/31完了 庁舎整備実施設計 3/28完了 高機能消防指令装置基本計画 2/13策定 庁舎整備地質調査 12/14完了 消防車両の更新等 化学車（中央署） 12/7納車 はしご車（南部署） 10/22納車 資機材搬送車（中央署） 9/28納車 指令車（依田窪南部署） 9/12納車		消防・救急無線のデジタル化に伴う施設整備 高機能消防指令装置の実施設計 消防本部庁舎等耐震化及び増改築 消防車両等資機材整備	年度内 ・東北信7消防本部共同整備分の実施 ・基地局の鉄塔及び無線局舎の建設 年度内 実施設計の実施 年度内 耐震改修、増改築工事等の契約 年度内 ・高規格救急車（真田署） ・消防本部活動支援事業（長野県市町村 振興協会）による資機材整備 作業車2台、トライアルバイク2台の 更新等

<b>市長指示事項</b>	<b>市長指示事項</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員の実数については、年度内に検討が済むように取り組むこと。</li> <li>防火対策指導については、引き続き鋭意取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員定数の充足率向上に向け、消防団と連携しながら継続して取り組むこと。</li> <li>失火の減少に向けた取り組みを強化するとともに、防火を含め啓発を更に行うこと。</li> <li>消防・救急無線のデジタル化等消防本部体制の充実・強化については、計画通り実施できるよう着実に取り組むこと。</li> </ul>